

# 平成23年度モデル事業の経過報告

---

平成25年2月27日

一般財団法人 日本環境衛生センター

# 平成23年度モデル事業

- 福岡県大野城市
- 福岡県太宰府市
- 福岡県筑後市
- 長崎県対馬市

4市をモデル事業に選定し、  
生ごみ資源化方針を提案

# 平成24年度の進捗状況

- 福岡県大野城市 → 未実施
- 福岡県太宰府市 → 意見交換会の立ち上げ
- 福岡県筑後市 → 未実施
- 長崎県対馬市 → モデル事業の実施



「太宰府市」と「対馬市」の平成24年度実施事業を紹介

# 平成24年度の太宰府市の実施事業

平成23年度モデル事業では、「地域に適したリサイクルシステムを模索しつつ、段階的に生ごみリサイクルの輪を広げていくとともに、将来を見据えて生ごみリサイクルに対する市民意識の向上を図る」という方向性を確認



生ごみ資源化モデル事業の実施を念頭に、市民、市民団体、収集業者、再生事業者、行政19名からなる意見交換会を設立

# 太宰府市モデル事業計画案、その1

## <目的>

ごみ焼却量の減量

資源が地域で循環するまちづくりの実現

都市型の循環型のまちづくりの実現

資源化方法：堆肥化

対象世帯：50世帯程度（1～2行政区）

実施時期：平成25年度中の半年以上の期間

生ごみの分別：蓋付き密閉型バケツ

※バケツは無料で提供



# 太宰府市モデル事業計画案、その2

収集時間：昼間収集

収集頻度：週2回

資源化事業者：(有)鳥栖環境開発総合センター

※食リ法登録再生利用事業者

参加世帯へのメリット

：堆肥の還元、土とプランターと花の種等のプレゼント

# 太宰府市モデル事業イメージ



モデル事業は平成25年度実施予定

## 【事業により望まれること】

- ・年間を通じた一連の野菜作りと循環の仕組みを学ぶE C O農園事業
- ・市関連施設等における植栽管理等での堆肥の活用といった都市型ならではの循環システムの構築

# 対馬市モデル事業 実施状況、その1

## <目的>

循環型社会構築を進めるため、平成26年度に市内全戸での生ごみ分別を開始する計画となった。

生ごみ分別に向けて、まずはモデル事業を実施し、生ごみ資源化に係る手法、問題点など検討することとなった。

資源化方法：堆肥化（堆肥化装置→処理能力500kg/日）

対象世帯：350世帯程度

実施時期：平成24年度

生ごみの分別：蓋付き密閉型バケツ

収集時間：昼間収集 収集頻度：週2回

作業担当：JAに収集運搬、設備管理を依頼

# 対馬市モデル事業 実施状況、その2

生ごみ置き場



堆肥化設備



# 対馬市モデル事業 現状及び今後の計画など

## <現状>

- 夏場も悪臭などの苦情はなかった
- 本設備では、処理に伴い排水が生じるため、排水処理に苦慮している。
- 本設備でできる堆肥は一次堆肥。一次堆肥のままでは利用が難しいため、この後の処理について研究を行っているところ。

## <今後の計画>

- 平成25年度は実証実験事業の拡充として2,000世帯まで参加世帯を増やす。
- 平成26年度からは本格実施をスタートするため、収集形態・処理施設の整備が急務。
- 収集形態と処理施設は、平成25年度上半期まで方針を決定、併せて一般廃棄物処理計画の見直しを行い、平成25年度下半期では処理施設の建設を行う。